

# 一般質問

6月定例会

高橋 英次議員

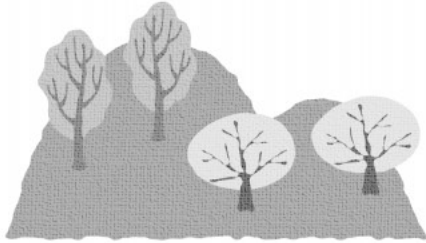


## Q 落石危険箇所への対応は

邑南町内の県道において、落石が軽乗用車を直撃し、死傷者を出す事故が起きた。

本町でも、児童生徒の通学路、高齢者の生活道、災害時の避難経路など、落石・土砂崩れが予想される箇所があると思うが、被害が及んでからでは遅すぎる。

どのような対策を講じているのか。



## A 調査結果を有効活用

町長 山崎 英樹

事故の報道を受け、管内全路線(370路線、延長286km)の総点検を、延べ3日間行った。

さらに地元を熟知している建設業協会に依頼し、より精度の高い点検を行ってもらっている。協会の協力体制に心より感謝している。

調査結果を待ち、防災工事の必要性の検討や、パトロールの強化策、要監視路線の区分けなど、危険予知の資料として、有効に活用する。

また、台風シーズンや大雨など異常気象の場合、特に慎重にパトロールを行うよう指示している。

## Q 福祉避難所の重要性

災害時に、住民が避難する、指定避難場所は各地区にある。

しかし、高齢者・障がい者・傷病者・妊婦など、いわゆる災害弱者、あるいは、要援護者が二次避難する福祉避難所は、本町ではどうなっているのか。その有無と、防災計画に載っているのか問う。

## A 防災計画への登載はこれから

町長 山崎 英樹

福祉避難所は、都道府県の判断により、災害救助法が適用され、避難が長期化する場合に開設する。

本町では、平成24年11月1日に、保健センターを福祉避難所として位置づけているが、飯南町地域防災計画への登載はまだだ。

本年度の地域防災計画の見直しの一項目として、適切に整理していく。



福祉避難所となる保健センター